

2012年7月30日

各位

余剰汚泥減量システム「オーディライト」が、 環境省の環境技術実証事業に選定

四国化成工業(株) (本社：香川県丸亀市、社長：田邊博臣) の、余剰汚泥^{*1} 減量システム「オーディライト」(オーディライト溶解器と専用薬剤オーディライトT-200) が、環境省の環境技術認証制度「環境技術実証事業」平成23年度対象技術に選ばれ、実証機関により昨年一年間実施された実証試験結果が、この度環境省に承認されました。この結果は同省ホームページ (http://www.env.go.jp/policy/etv/list_20.html) に掲載されています。



この制度は、既に実用化され有用と思われる先進的環境技術でも、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいないものを対象に、その効果等を第三者が客観的に実証することにより、環境技術の普及、環境保全と環境産業の発展促進を目的とするものです。

「オーディライト」は、既設の排水処理設備に後付けが可能で、低コスト・コンパクト、かつメンテナンスが容易で商業的に利用価値の高い技術として、「小規模事業場向け有機性排水処理技術分野」に選定されました。

本システムは農業集落排水^{*2} や食品工場等において、排水の浄化に伴って生ずる余剰汚泥を、専用溶解器内で薬剤オーディライトT-200と反応させて可溶化^{*3} し、再び処理施設内で基質^{*4} として分解・消化させることによってその発生量を減量します。その効果により廃棄物処分費のコストダウン、併せて埋め立てや焼却処分による環境負荷を軽減します。また、従来の減量方法と比べ高額な初期投資を必要とせず、少ない初期投資で確実な汚泥減量(30~80%)を達成します。2007年の発売以来、全国の農業集落排水処理施設等の下水処理施設や産業排水処理施設等50カ所において、汚泥廃棄物の減量に寄与してきました。

今回本システムが採用されている農業集落排水処理施設における汚泥廃棄物の減量効果、また減量に伴う水質への影響、メンテナンスにおける作業性等の試験とともに、環境省に選任された学識経験者によって減量のメカニズムについても検証がなされ、その環境保全効果が実証されました。

当社では今回の第三者による客観的な実証結果をもとに本システムの更なる普及を進め、本年度100カ所、2年後に300カ所への納入を目指しています。

以上

ご参考：この製品に関する弊社ウェブサイト アドレス

<http://www.shikoku.co.jp/products/chemicals/ST/ohdelight.html>

このリリースに関するお問い合わせは
四国化成工業(株) 経営企画室まで
TEL. 0877-21-4119

*** 1 : 余剰汚泥**

下水や産業排水は、一般に排水中の有機成分を微生物により分解・消化する「活性汚泥法」により浄化されている。微生物は浄化に伴い増殖するが、一定の微生物濃度に調整する上で過剰に増加したものを「余剰汚泥」を呼び、廃棄物として焼却または埋立処分する必要がある。その量はコストに直結するため、減量が求められる。

*** 2 : 農業集落排水**

小さな集落が分散している農村地域内の生活排水を集散的に処理する仕組み。仕組みとしては下水道とほぼ同じで、生活排水がそのまま農業用水路や河川に流されるのを防ぐ。水質汚濁による農業被害の解消や食の安全・安心に繋がるほか、処理水の再利用や発生汚泥の農地還元を通じた水資源・有機資源のリサイクルを推進する観点から、農林水産省の補助対象事業にもなっている。

*** 3 : 可溶化**

余剰汚泥に取り込まれた有機成分を、水に溶けた状態にすること。

*** 4 : 基質**

生分解性の有機物



専用薬剤オーディライト T-200



オーディライト溶解器(簡易型)

